

りえぞん



〈編集・発行〉
独立行政法人 国立病院機構
奈良医療センター
<https://nara.hosp.go.jp/>

Liaison

vol.52

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター

令和5年1月

医療関係者の皆様へ 「りえぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。
奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで名付けました。

病院理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、信頼される病院を目指します
患者第一、安心安全な先進医療を提供します

令和4年度 病院目標

呼吸器疾患と神経疾患を中心とした
「面倒見のいい病院」の機能を高める



病院から見た二重の虹
「願いの叶う虹」と言われています。
世の中が平和でありますように。

撮影 志水 佳代

Contents

- | | | | |
|---------------------|---|-----------------------|----|
| ● 新年明けましておめでとうございます | 2 | ● 第76回国立病院総合医学会で | |
| ● 特定看護師の活動 | 3 | ポスター賞を受賞しました! | 8 |
| ● 部門紹介-外来 | 7 | ● 訪問看護サービス開始 | 9 |
| | | ● 連携施設のご紹介コーナー VOL.14 | 10 |

新年明けましておめでとうございます

国立病院機構奈良医療センター院長 平林 秀裕



「虎は千里を走る」と威勢の良い掛け声で始まった昨年は、ウクライナ戦争、安倍総理暗殺事件、コロナは終息せずと散々な1年で、北京オリンピックやワールドカップでの日本勢の活躍でわずかに溜飲を下げた年でした。今年の干支は、癸卯（みずのとう）。一つの物事が収まり次の物事への移行をしていくという意味だそうですが、所詮、古代中国の思想・陰陽五行説という占いから発したもので、当たるも八卦、当たらぬも八卦というところでしょうか。占いはさておき、奈良県では、地域医療構想で連携、集約が進む中、「孤高の虎」として、当院が求められ、担っている政策医療などの充実に、COVID-19感染症の重点医療機関として役割を果たしながら取り組んできました。具体的には、重心医療における居宅訪問型児童発達支援事業、奈良県てんかん診療拠点病院として、県内医療機関連携の促進、医療の質向上、コーディネーターの育成や筋ジストロフィーなどの神経難病等の連携協力医療機関としての役割、コロナ患者と結核患者の受け入れの両立を実施してきました。また得意分野の医療として、パーキンソン病・本態性振戦・ジストニア等の不随意運動の外科的治療、痙縮や難治性疼痛に対する集学的治療、老年呼吸器病治療、日本睡眠学会専門医療機関として睡眠呼吸障害治療、小児神経発達症の診断・治療、高次脳機能障害支援事業などに注力してきました。一方、「孤高」とはいえ、地域医療に貢献することも国立病院である当院の重要な業務であり、急性期病院の後方支援機能および補完的救急医療の実施のために、奈良県立医科大学内科および脳神経外科と病病連携協定を締結、奈良県総合医療センター救急ネットワークにも加盟し、コロナ禍であってもこれらの病院の後方支援を今年はさらに充実させてゆきたいと思います。また大学と連携したPOST NICU問題に対する取り組み、住み慣れた家庭や地域で安心して医療が受けられるように、難病や特殊な治療を行っている患者さんを中心とした訪問看護事業も展開したいと思います。

奈良医療センターは、不安定な世の中において、患者さんが安心・安全に暮らせるように質の高い医療と福祉で支える病院でありたいと今年も頑張ります。



「特定看護師の活動」

当院では、国の定めた基準に則した「特定行為研修」を終了した看護師が医療行為の一部を担う「**特定行為**」を行っています。「**特定看護師**」という名称で活動しています。



Q 1. 特定看護師は何をする看護師?!

- A 1. 一部の医行為を手順書による包括的指示により行う看護師
- A 2. 当院では主に 気管カニューレ交換、胃ろう交換、創傷管理をしています



胃ろう交換



気管カニューレの交換



Q 2. 特定看護師に求められるもの

- A 1. タイムリーに医療的ケアを行い、患者・家族の立場にたったわかりやすい説明ができる
- A 2. 治療と生活の両面から支援ができる
- A 3. フィジカルアセスメントができる

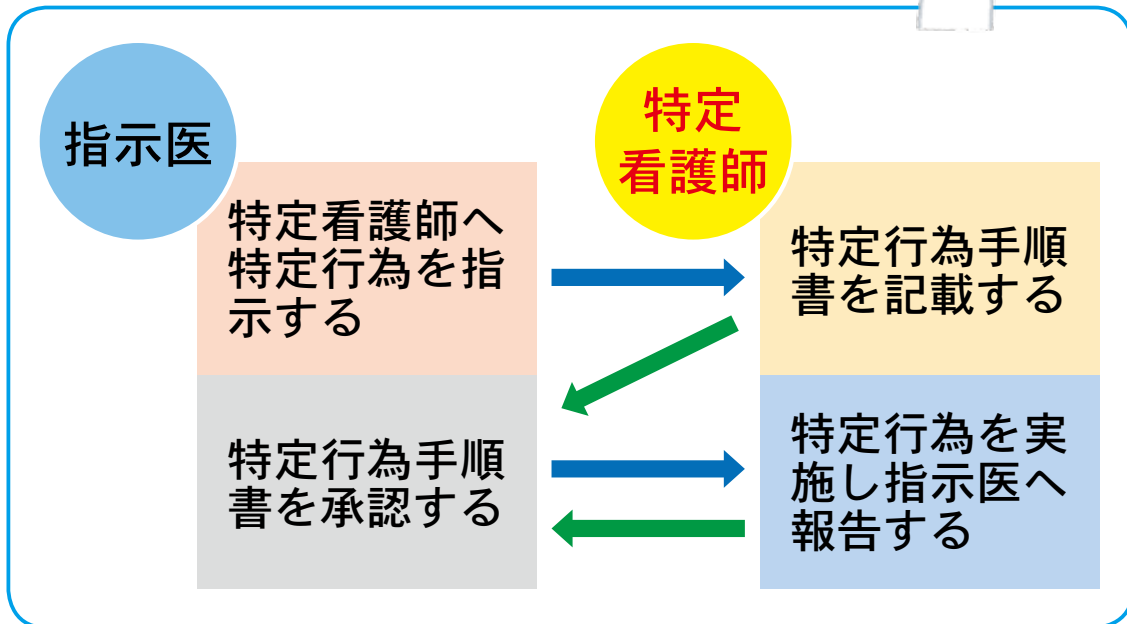


Q 3. 手順書とは・・・どのようなもの?

- A 1. 手順書に当てはまる対象患者であるかを確認
 - A 2. 患者の病状の範囲（例：バイタルサインに変化なし、全身状態が良好）
医療器具のタイプなど（胃ろうであればバルーン型など）を定めている
 - A 3. 特定行為を行うとき確認する事項
（例：バイタルサイン・意識レベルが安定している、出血がない）など
 - A 4. 医師との連携事項・特定行為実施後の報告
- A 1～4を定めており、特定看護師は手順書に沿って特定行為を行います**



Q 4. 特定行為の流れ



Q 5. 当院で特定行為を行うことのメリット

- A 1.** 医療器具（気管カニューレ・胃ろう）を装着している患者が多く
医師が交換に時間を割いていたが、特定看護師が行うことで
業務負担の軽減となっている
- A 2.** 胃ろう交換では、病室で交換を実施するため、放射線科 造影検査室
へ移送の負担が軽減し、人工呼吸器を装着中の患者の安全が確保された。
また経腸栄養を延食しなくてもよかった
- A 3.** 胃ろうの種類やトラブル回避のスキンケアなど患者のケアの検討が
行いやすくなった



特定行為（胃ろう交換）実施場面

①特定看護師が胃ろう交換します。病棟看護師は補助をします。



②**必要時**、医師が胃ろう用内視鏡で胃ろうチューブが胃内に留置されているか確認します。



特定行為（気管カニューレ交換）実施場面

①特定看護師が気管カニューレ交換をします。終了後呼吸状態を確認します。



②**必要時**、医師が気管に肉芽などのトラブルがないか気管支ファイバーで確認します。



「私たちが特定看護師です」



沖村 裕和特定看護師

患者や家族の思いに対して特定行為を活用しタイムリーな医療を安全に実施し、個別性を考慮した看護実践を心掛けています。



宇尾 ユミコ専従
皮膚・排泄ケア特定認定看護師

創傷管理では、創傷の早期治癒を目指し、特定行為を実施しています。患者様の苦痛が軽減されその人らしく生活できるようにケアを行っています。

部門紹介

外来看護師長 馬場野 紀子

外来

外来は、患者さんやご家族の方が来院され、最初にお会いする部署の一つです。そして、病気に関していろいろな不安を持たれて来院される皆様方に、私たちは少しでも安心して検査や治療を受けていただけるよう、丁寧な対応を心がけています。

当院は23の診療科があり、呼吸器や脳神経外科、脳神経内科を中心に診療を行っており、看護師と医師クラークで密な連携を取りながら診療介助や看護を行っています。

看護師は診療や検査の介助だけでなく、入院前の患者さんの状況をお聞きして入院支援を行ったり、退院後の初回面談では、在宅への移行がスムーズに行えているか、困りごとがないか等の相談にも乗っています。医療クラークは医師の補助として少しでも待ち時間の短縮に努めています。

マスクで顔は覆われていますが、「面倒見のいい病院」、そして私たち外来看護師は病院の顔としての自覚を持ち、常に「マスクの下はいつも笑顔で！忙しくても丁寧な対応を！」をモットーに日々頑張っています。

これからも、不安な事やご心配な事があればいつでもお声をかけてください。



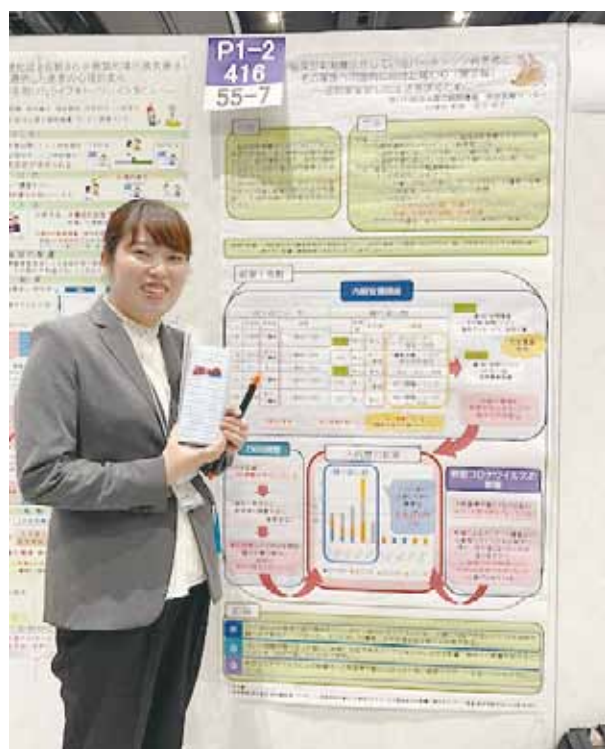
第76回国立病院総合医学会で ポスター賞を受賞しました！

薬剤部 福田 祐子薬剤師

第76回 国立病院総合医学会において、「結核病棟入院患者への薬剤情報提供書の作成」という演題で発表する機会をいただき、ポスター賞を受賞することができました。結核病棟入院患者への薬剤情報提供書を作成するにあたり、南2病棟配属の看護師、入院患者の皆様にはアンケートにご協力いただきました。結核治療においては、複数の抗結核薬を長期にわたり継続して服用することが重要ですが、副作用や相互作用に対する不安も大きいため、それを軽減するために薬剤師はどのような薬剤指導をするべきか、アンケート結果が非常に参考になりました。今後も他職種と連携しながら、結核治療の質の向上に貢献できるよう、研鑽を積んでいきたいと思ひます。



3A病棟 保田莉帆看護師



DBS（脳深部刺激療法）の手術を受けることによる、認知機能低下、抑うつ傾向となる患者さんがいるため、内服管理に他者が介入することや、刺激調整の対応、コロナによる様々な影響が入退院を繰り返さずに過ごすことができることにつながっていることがわかりました。今回の研究結果を今後も病棟で活かしていきたいと思ひます。

訪問 看護

令和5年1月～



サービス開始

奈良医療センターが始める
訪問看護って？



当院にかかりつけの患者様に対して
専門的な知識を有した看護師
などがお住まいを訪問します



病気や障害を持った方とそのご家族が
住み慣れた地域でその人らしく
生活できるよう様々な支援を行います



国立病院機構 独立行政法人
奈良医療センター

奈良県奈良市七条2丁目789番地
TEL : 0742-45-4591 (代表)

奈良医療センター 訪問看護



郡山いむらクリニック

井村 龍磨 理事長

大和郡山市で、かかりつけ医として「地域に望まれる医療を」の思いから平成19年にクリニックを開設しました。訪問診療をはじめ、リハビリ・看護・栄養を含め自宅でいつまでもを実現できるよう、サポートいたします。医療・介護・福祉の支援相談は、私共にお任せください。

診療受付時間（診療開始時間）

内科 月～土：8：30～11：30（9：00～）

月～木：15：30～18：30（16：00～）

皮膚科 月～土：8：30～11：30（9：00～）

（水曜日のみ9：30～）

月～木：15：30～18：30（16：00～）

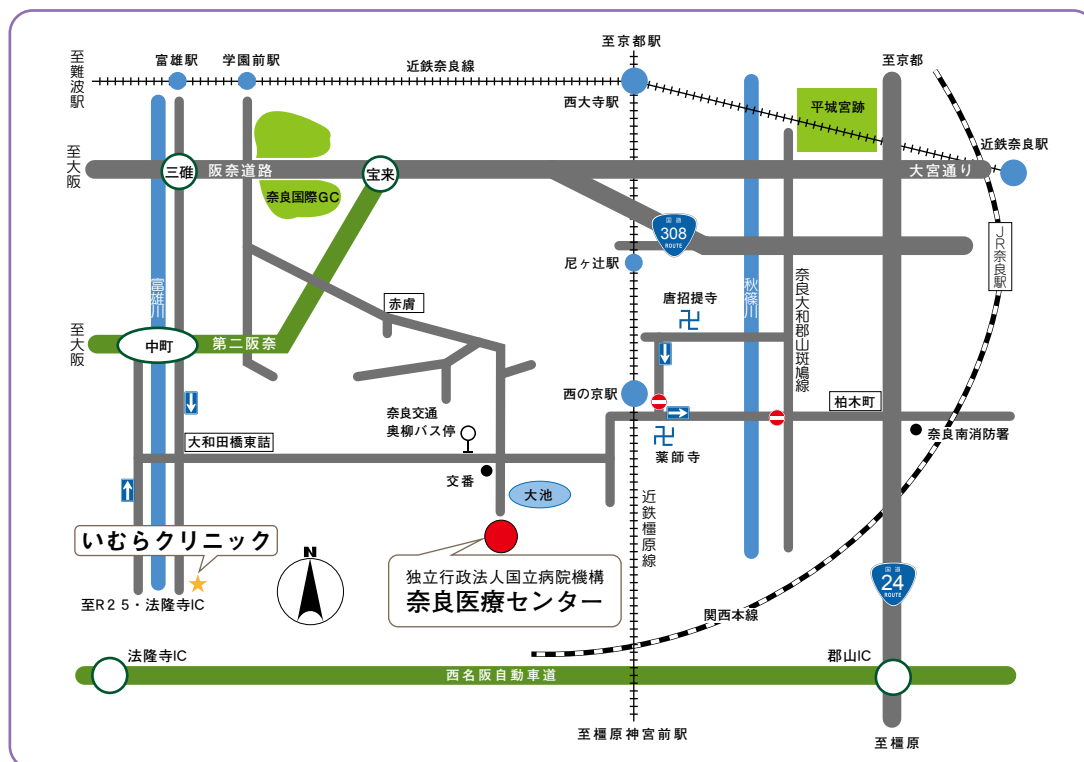
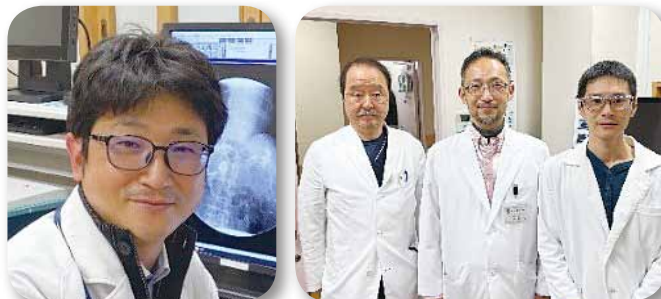
整形外科 火金土：8：30～11：30（9：00～）

火 金：15：30～18：30（16：00～）

（外来受診問い合わせ）

郡山いむらクリニック：0743-55-0027

（在宅支援相談窓口） 在宅医療センター悠：0743-55-0200



独立行政法人 国立病院機構
奈良医療センター
地域医療連携室

〒630-8053
奈良市七条2丁目789
TEL.0742-45-4591（代表）
TEL.0742-45-1563（直通）
FAX.0742-45-4901（直通）